

# 生きづらさを支える地域のあり方

ふるさとの会・支援付き住宅推進会議 共催シンポジウム

## 【基調講演】「地域での生活・居住支援

～福祉のフロンティアを切り拓く～」

### 岡田 太造 氏

前・厚生労働省社会・援護局長／  
兵庫県立大学大学院経営研究科客員教授



## 【実践報告】

### 「ふるさと・寄りそい地域事業の実践報告」

#### 秋山 雅彦

特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会理事

## 【パネルディスカッション】

### 「生きづらさを支える実践」

(パネリスト)

#### 栗田 主一 氏

東京都健康長寿医療センター自立促進と  
介護予防研究チーム研究部長

#### 岡田 太造 氏

#### 園田 眞理子 氏

明治大学理工学部 教授

#### 的場 由木

特定非営利活動法人 すまい・まちづくり支援機構 理事／保健師

(コーディネーター)

#### 高橋 紘士

一般財団法人高齢者住宅財団 理事長／支援付き住宅推進会議 共同代表

〈主催〉 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

〈共催〉 支援付き住宅推進会議

#### 【岡田太造氏プロフィール】

一橋大学経済学部卒業。昭和55年4月厚生  
省入省、内閣府大臣官房審議官（国民生活  
担当）、同審議官（共生社会政策担当、大  
臣官房担当）、同少子化・青少年対策審議  
官、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉  
部長などを経て、平成25年7月より厚生労  
働省社会・援護局長。現在は兵庫県立大学  
大学院経営研究科客員教授。

日時：2015年11月3日（火・文化の日）

13:30～17:00（開場13:00）

場所：すみだ生涯学習センター（ユートリヤ）・ホール

定員：200名（要申込） 参加費（資料代）：1,000円 ※終了後に懇親会を予定

#### 【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人  
自立支援センターふるさとの会 事務局  
東京都台東区千束4-39-6-4F

TEL:03-3876-8150  
FAX:03-3876-7950  
E-mail:info@hurusatonokai.jp





## 【開催趣旨】

「たまゆら火災」を端緒に「支援付き住宅推進会議」が発足し、7年目のシンポジウムを迎えます。今年、ふるさとの会は、「生活困難者を排除しない地域づくり」の取り組みとして、地域の既存ストックを活用し、住まいと生活支援を組み合わせ、地域サロンを展開する「寄りそい地域事業」を開始しました。

この事業では、大家・不動産事業者が事業の主体になり、同時にコミュニティ再生の主体にもなることが模索されています。しかし、家主に安心して物件を提供してもらうためには、入居者が住み続けるための支援、すなわち生活支援のオーソライズが欠かせません。

後期高齢者が急増し、認知症の人が700万人を超えるとされる「2025年」が近づく中、何より人が地域に住み続けることが、社会保障を下支えします。家族介護や生活困窮などコミュニティが抱えるリスクも考慮しながら、生活困難者の生きづらさを支える住まいとは、生活支援とは、対人援助とはなどの視点から、地域づくりと福祉のあり方を討議したいと思います。皆様ふるってご参加ください！

## 11.3 ふるさとの会シンポジウム申込書

### 【会場案内図】 すみだ生涯学習センター

東京都墨田区東向島2-38-7

#### 東武曳舟駅

改札口を（改札は一カ所のみ）右折、線路沿いに（北千住方面）すすみ、突き当たりガード下をくぐり左折（徒歩5分程）。

#### 京成曳舟駅

青砥方面改札を出て明治通りを進み、東向島広小路のバス停先を左折（徒歩5分程）。

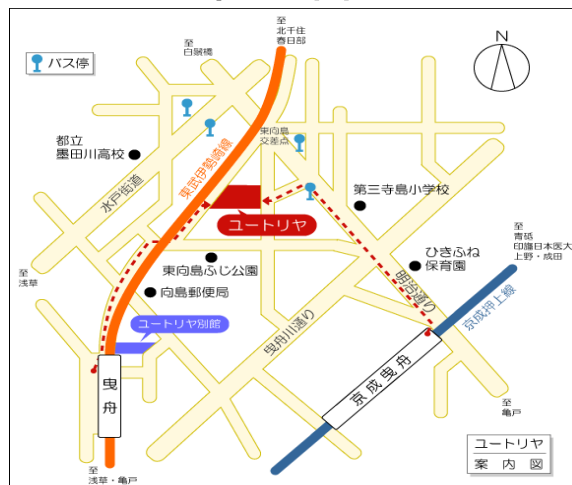
### ＜お問い合わせ＆お申込先＞

特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会事務局

TEL：03-3876-8150 FAX：03-3876-7950 E-mail info@hurusatonokai.jp

※参加ご希望の方は、下記にご記入の上、FAXにてお申込下さい。なお、メールからもお申し込みいただけます。

※お申込受付の際、受信確認のFAXもしくはメールを返信いたします。3日以内（土日・祝を除く）に返信がない場合は、ご連絡ください。



フリガナ	
ご氏名	
所属団体	
部署名	
役職	
ご連絡先	TEL
	FAX
メールアドレス	(メールマガジンの配信) 希望する ・ 希望しない